



近江楽座キャラクター  
メイミイ

## SCHEDULE 2011-2012

**4月 / April**  
新入生オリエンテーション (4/6)  
2011年度プロジェクト学内公募 (4/18-5/9)  
応募説明会 (4/21)  
2010年度活動報告会  
まちづくりファーマーズフェスタ (4/23)

**5月 / May**  
2011年度公開プレゼンテーション・審査会 (5/21)  
2011年度プロジェクト審査結果発表会 (5/26)

**6月 / June**  
活動説明会 (6/1)  
第14回 湖風夏祭 (6/18)  
2011年度 近江楽座学生委員会発足 (6/27)

**7月 / July**  
「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始 (7/11)  
交流会「第9回ソロソロ会」開催 (7/13)

**8月 / August**  
滋賀県立大学 オープンキャンパス 2011 (8/6-7)

**9月 / September**  
近江楽座交流会開催 (9/29-30) ※予定  
スキルアップセミナー (9月末～10月初旬) ※予定

**10月 / October**  
交流会「ソロソロ会」開催 ※予定

**11月 / November**  
第17回 湖風祭 (11/11-13)  
交流会「ソロソロ会」開催 ※予定

**12月 / December**  
2011年度中間報告会  
プロジェクト予算修正  
交流会「ソロソロ会」開催 ※予定

**1月 / January**  
交流会「ソロソロ会」開催 ※予定

**4月 / April**  
2011年度活動報告会  
まちづくりファーマーズフェスタ

## PROFILE

### 近江楽座専門委員会

滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、社会貢献推進委員会の一専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、事業全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生主体の地域貢献活動をサポートしています。

### 近江楽座学生委員会

近江楽座をさらに推進していくことを目的に、プロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を越えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを掲載して行くことを目指しています。

### ウェブサイトの情報が充実!



近江楽座ウェブサイトは、各チームのブログと連動して更新。リアルタイムでの活動がわかります。

### プロジェクトレポート発行中!



事務局スタッフが実際に取材、プロジェクトの生の様子を伝えていきます。レポートは近江楽座ウェブサイトか、学内の掲示板でチェック!

### 近江楽座でスキルアップ!

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。

### ソロソロ会でチーム間の交流!

学生委員会が主体となり、定期的に交流会を行っています。他のチームの学生と交流し、楽座について語るきっかけにもなっています。

# 「近江楽座」= 学生らしさを活かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

## 「近江楽座 (おうみらくざ)」とは?

滋賀県立大学の「スチューデントファーム「近江楽座」-まち・むら・くらしふれあい工舎-」は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。平成16年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム (現代GP)」に採択され、平成18年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取り組みとして、学内外で高く評価されました。そして、翌平成19年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かし、さらなる活動を展開しています。

## 教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくりにつながるシステムをつくる。

## 3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局 (地域づくり教育研究センター) の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

### 活動助成システム

「スチューデントファーム「近江楽座」」として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。

### コンサルティングシステム

教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。

### 地域「知」のリソースシステム

大学と地域連携に係わる情報を他大学、研究機関、行政、NPO団体などと共有化・活用するためのデータベースを構築し、活動をサポートします。

## プロジェクトタイプ

2007年度より、「地域活性化への貢献」をテーマに学生主体の地域活動を行う「Aプロジェクト」に加え、新たに、自治体や企業等から提示された課題について、学生主体のプロジェクトチームを結成し活動する「Bプロジェクト」がスタートしました。

### Aプロジェクト

「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集します。昨年度までの継続活動を対象とした①「継続プロジェクト」、新規活動を対象とした②「新規プロジェクト」、さらに新たに③「Sプロジェクト」として、これまでの実績をもとにステップアップを目指すプロジェクトで、活動資金の助成を必要としないプロジェクトの3つの区分で募集し、支援するプロジェクトを選定しています。

### Bプロジェクト

自治体や企業、団体等から依頼のあった課題について、「近江楽座」として取り組むテーマを設定し、学生主体のプロジェクトを募集します。学生チームにはテーマに対する企画提案を求め、採択されたチームは、指導教員と地域づくり教育研究センターがフォローし、依頼先と共同で取り組みます。

### Aプロジェクト

「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動プロジェクト。

— 継続プロジェクト

— 新規プロジェクト

— Sプロジェクト (平成23年度より開始)

活動資金の助成を必要とせず、これまでの実績をもとにステップアップを目指す取組み

### Bプロジェクト

学生主体のチームが自治体や企業等から提示された課題に、プロポーザル方式で企画提案を行い、選定されたチームと依頼先とが共同で取り組むプロジェクト (平成19年度より開始)

## MANAGEMENT CYCLE

**step1**  
発起

### 近江楽座につながる活動の芽

- 「学生主体による地域貢献活動」がキーワード
  - 大学での授業、フィールドワーク、研究などすべてが近江楽座につながる活動の芽
- 学生ならではの視点で地域の課題や魅力を見だし、新たな実験的な試みを蓄積していくことが出来ます。



公開プレゼン

**step2**  
計画

### 一年間で成果を上げるためのプランニング

- 年一回、近江楽座のプロジェクト募集と審査会
  - 学生主体の活動であれば、誰でも応募可能
  - 所定の過程と厳正な審査を経て為される採択
- 公開で行われる審査会を経験することで、学生たちのプレゼンテーション能力が養われます。また、審査を通して自分たちのプロジェクトの評価を確認することが出来ます。



交流会

**step3**  
活動

### 独自の支援を活用したプロジェクト展開

- 活動資金の助成により、実践的な活動展開が可能
  - 教員と事務局が連携した全学的なサポート体制
  - 年度中間に相談会を兼ねた座談会を行い、活動をケア
- 活動助成やコンサルティングといった活動支援に加えて、近江楽座がこれまで培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かすことで、更なる成果や展開も生まれていきます。



中間報告会

**step4**  
報告

### 大学、地域と共に成果と課題の再認識

- 全てのチームで一年間の活動をフィードバックし成果と課題を共有し合う
- 成果の発表だけでなく、地域関係者や一般の方とともに意見交換できる場づくり

活動成果の展示発表と同時に、外部講師による講評会を開催します。より多くの方々と共にまちづくりを考える場をつくることで、近江楽座の活動を広くアピールして取り組みの発展を図ります。



成果発表会

近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで  
学生もプロジェクトも次のステップへ。  
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。

## VOICE / 先輩の声



学生の活動が地域活性化に結びつくかどうかなんて1年間でわかるはずがありません。けれども、汗と泥にまみれてくたくたになりながら作業していると、いつの間にか助けてくれる仲間ができました。テキパキ動く地元の人や、夢中になって動く仲間たちがいてくれたからこそ、今まで走ってこれたのだと感じています。まだまだ、学生のやれることはたくさんあるはずです。

**田口真太郎 (環境科学研究科)**  
エコキャンパスプロジェクト (2007-2008)  
信・楽・人・field gallery project (2010)

こだわりを持って一つのことをやり遂げて、初めて自信がつくということ。何か行動を起こすには様々な方の協力が不可欠だということ。地域の方や自分自身に甘えてしまいがちな私ですが、近江楽座での活動を通して、たくさんのことに気づかされました。みなさんぜひ、近江楽座で自分が納得できるまで何かに取り組んで欲しいなと思います。



**稲葉結実 (近江楽座事務局)**  
Taga-Town-Project (2005-2010)

学生も、  
大学も、  
地域も、  
いっしょに育つ。

# 近江楽座 2011

http://ohmirakuza.net  
滋賀県立大学 スチューデントファーム「近江楽座」-まち・むら・くらしふれあい工舎-

